

令和8年度 第1回甲賀市社会教育委員の会議 定例会議事録(要約)

日時：令和8年(2026年)5月18日(月)

15時00分～16時35分

場所：水口図書館資料室

出席者 (委員)西村委員長、岡村副委員長、井ノ口委員、東委員、古賀委員、福井委員
松本委員、中村尚委員、辻委員、石田委員、中村有委員、木村委員 以上12名
(図書館)香取水口図書館長
(事務局)林課長、川上課長補佐、稲葉主事、沢井社会教育統括指導員
傍聴者 3名(西村議員他2名)

委員総数12名全員出席。甲賀市社会教育委員会議規則第3条第2項の規定により、過半数を満たし会議成立。

1. 開会 市民憲章唱和
2. 課長あいさつ
3. 委員長あいさつ

資料に基づき、伊賀市図書館視察報告

4. 視察報告

伊賀市図書館(追加)

(委員)北部図書館は貴生川図書館の参考になるが、森精機が存在が大きい。貴生川を中央館とするかどうかで方向性が変わる。

これからの図書館は読んだり、調べたりするだけではなく、多機能が必要。

(委員)大変参考になったが、財源等甲賀市とは状況が違うところがある。よいものをつくりたいという気持ちは共通だと思うが、よいものイコールお金をかけるというのではなく、先々を考えた現実路線は考えるべき。図書館の整備の進め方やそこに至る過程は参考になる部分は多かった。

(委員)建物が印象的。複合施設ということで、カフェや土産物屋さん、ホテルが併設されていた。人を集める図書館になるためには、目玉になるものが必要かと思う。

北部図書館は蔵書こそ少ないが、人口を見れば適切かと思う。珍しい図書に出会えるのも魅力的。

(委員)多機能施設を中心に見学させてもらった。これからは図書館の機能だけでは無理なのかと思った。宿泊者に図書館の本を読んでもらうサービスも行われていて、図書館以外の施設も両方活かされることが大切。北部も学生が電車の待合の時間をうまく利用している。

(事務局)伊賀市は合併前、旧市町に公民館があり、その中に図書室があったということで本市と状況が異なる点がある。北部図書館は資料では市の委託と記載したが、どちらかといえば、森精機の図書館に市の図書館が間借りしているといったのが正しい状況かと思われる。北部でもカフェがあるなど居場所になっている。どんな施設でも人が集まらなないと意味がない。今後公民館のあり方を考える時にも参考になると考えられる。

守山市図書館視察報告

(委員)県内4番目の公立図書館。平成元年に前の図書館を増改築し新館開館。平成26年に基本計画が策定され、平成30年現施設開館。隈研吾設計。土日は駐車場も一杯。子どもや若い人の利用も多い。北部図書館は図書館だけでなく、芸術市民活動や青少年活動支援などのゾーンもある。今後、守山駅周辺にも図書館機能を持つ施設を考えている。支所と同じフロアーにある。公民館も一緒になっている。来庁者が本も利用したり、近隣の速野小学校の児童も活用したりしている。コンパクトな施設で、蔵書も少ないが、守山図書館と蔵書の入れ替えも頻繁に行い。古い本ばかり並んでいるわけではない。テラスもあり、狭いながらもゆったりとした施設。甲賀市も5館併設ではなく、中央館と支所機能を持たした地域館という考えもできる。

(委員)年間予算は2億円とのこと。若い人が多いのが印象的。一括貸し出しやATM方式の読書通帳も有効的だった。

(委員)新潟県の弥彦村の図書館では公民館との新しい地域交流拠点になっていた。これはブックディレクターの専門的な知識を取り入れている。高齢者が横たわれるような場所もあった。

5. グループ協議 2グループ

グループ協議後、各グループの発表

(Aグループ委員)

伊賀市が図書館を集約する際に反対も多かったことから、甲賀市は現在の5館は残す方向が望ましいのではないかと。図書館に何かの機能をプラスするという考え方をし

てはどうか。蔵書を減らしてでも居場所としての機能を充実する方が大切。必ずしも図書館だけでなくともよい。プラス機能は人が集まることが重要。民間委託も考え、サービスの向上も図ってみてはどうか。なんとなくカフェを取り入れるのではなく、目的を考えて導入することが必要。

(Bグループ委員)

旧町にこだわらず、将来的なことも考え3館ぐらいにしてはどうかという意見と、新機能を持たせた中央館1館と形がどうであれ繋がり場の場としての地域館4館が必要という意見があった。居場所に図書館をするという発想や運営面のさらなる工夫が必要。地域の人が集える図書館が重要。そのための交通の便は重要なポイント。中央館以外は他の施設にある図書室という発想必要ではないか。

(委員長)それではこれで今日の協議は終わらせていただきます。

6. 退任される委員よりあいさつ

(委員)いろいろな委員と出会え、話し合えてよかった。行動する社会教育委員としていろいろな委員の活動に刺激された。

(委員)社会教育という言葉も知らない状況で始めたが、福祉の観点で参加し、意見を述べてきた。社会教育委員は終わってからがスタートだと言われた。子育てをしながらも社会教育のことを考えていきたい。

(委員)校長代表として参加したが、コミュニティスクールの設置や図書館のあり方について考える機会を得たので、今後も社会教育について考えていきたい。

7. 今後の予定

(事務局)第2回、新委員による会議は6月22日(月)に同じ水口図書館で開催する。

8月に提言書をまとめるべく進める。

研修会の案内。配布資料の説明 次回までに読んでおいてほしい。

8. 閉会挨拶 岡村副委員長